

特別企画

今後の国際博覧会に向けて 「国際博覧会に関する有識者懇談会」第一回会合開かれる 上海万博に経済界は大きな関心

本懇談会は、本年八月九日、都内ホテルに於いて、国際博覧会に対する我が国政府の取り組み状況、経済界、学界、文化人等の関心などについて、経済産業大臣が経済界、学界、文化人等有識者との意見交換を行うために開始したものである。以下に本懇談会の第一回会合の結果概要を紹介する。なお、紙幅の関係上、各氏の発言内容は概要とさせて頂いた。

松井商流審 朝早くからお集まりいただきましてありがとうございます。只今より国際博覧会に関する有識者懇談会を開催いたします。早速ではございますが、二階大臣より一言、ご挨拶申し上げます。
二階大臣 今朝は大変お忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。私は、国際博覧会担当の大臣ですが、今後我が国として国際博覧会に対してどのような対応をしてい

くか、また、上海万博については中国政府から既に招請状を受け取っているわけですが、我が国として如何なる対応をすべきか、更にまた愛知博の成功をベースとして、国際博覧会の場は日本の技術や知見を国際社会にアピールする絶好のチャンスですので、そのために何をなすべきかなどをよく承っておきたいと思えます。経済産業省が発表しました新経済成



2006.9

長戦略では、国際コンテンツカーニバルの開催等を訴えています。上海万博が開催されて、日本が出席することになれば、その一角を活用してコンテンツ産業の持つ日本のあらゆるテーマを舞台にのせていきたいと思っております。国際博覧会についてすぐに結論を出すわけではありませんが、これから各界の皆様いろいろなご意見を頂戴して、万博担当大臣として民間の出展者のお立場も考慮して、出

来るだけ早く今後の見通しをつけておきたいと思っております。

(続いて、座長として二〇〇五年日本国際博覧会協会豊田会長を選出)

豊田座長 ご指名により座長を仰せつかった豊田です。宜しく願います。二〇〇五年の国際博覧会は、二十一世紀初めての万博でした。二十世紀の万博というのは、国威発揚とか商業主義のようなトーンが強く、二〇〇〇年のハノーバー万博の頃には、そのようなことを言っても全世界は賛成しないという雰囲気でした。事実、ハノーバー万博はあまり思わしくありませんでした。そんな中で日本は新しいイメージの二十一世紀型の万博を成功させ、万博に対して世界の見目も良くなってきたと思います。上海では、是非愛知博の理念を受け継いでいって欲しいと思います。

(松井商流審より、愛・地球博及び上海国際博覧会の概要について説明)

中村事務総長 私ども博覧会協会は、上海からの研修生・視察団を受け入れるなど、上海万博当局とは緊密な連絡を取ってきました。今日の博覧会は、かつての博覧会と違い、地球的課題の解決に貢献するという観点から非常にテーマを重視するというところでござい

ます。私どもは「自然の叡智」というテーマでしたが、上海は「Better City, Better Life」ということばを言いますけれども、持続可能な社会の成長を築く上においての「Better City, Better Life」だと最近中国も盛んに言っています。私どもの理念と共通するところがあると考えておりますし、その実現を期待しています。

上海、そしてその前に小さな博覧会でサラゴサ博というものがありますが、そうしたところで愛・地球博の理念継承発展に何らかの形で参加したいということで、後継団体を通じて参加したいと考えております。

足立社長 上海万博は、大きさという規模といい、これまでを大きく上回るような博覧会になるわけですが、愛・地球博から継承する理念と日本らしさというものをどう表現しながらアピールをしていくかというのが重要になってくると思います。日本としてまだ正式に出展を表明していないということですが、早い段階で参加表明をしていただくことが大変重要ではないかと思えます。企業の出展に関しては、国がまず参加表明することが大事なことと考えます。

国に対するお願いですが、まず、われわれには万博に関する情報が十分に届いていません。また、中国の法律やルールは大変複雑な上に、一企業としては情報を入手するのも大

2006.9

●特別企画● 今後の国際博覧会に向けて



岡村 正氏



勝俣 恒久氏



網谷 幸二氏

八丁地副社長 私は愛・地球博の日立グループ館を担当いたしております。

心にとり案には大賛成です。日本のコンテンツ事業の国際化や環境・エネルギーについての日本の取り組み方をしっかり打ち出すべきでしょう。政府と民間の役割については、政府側で一本筋を通していただいて、民間が資金的、展示面で協力していくというようないややかたで進めるべきではないかと考えております。

勝俣会長 上海万博のテーマが「Better city, Better life」であり、エネルギーの安定供給、省エネ、環境とは密接に結びつく所が多いので、協力すべきところはあろうと思っております。例えば、上海市の電力ネットワーク信頼の向上や地下変電所の技術などです。今後、万博の跡地利用や周辺開発など、公共的な電力基盤整備も行うと聞いており、われわれにはこれらのコンサルタントができると思います。エネルギーの消費面においては、日本における様々な取り組みが紹介出来るの

ではないかと思っております。

網谷氏 「上海に行つて富士山を見て帰ろう」。ヨーロッパの人に、上海へ行つて、ついでに万里の長城を見たら、その次は日本に寄つて帰ろう、と思つてもらえるよう、中国とその対岸である日本をワンセットで考える発想が必要だと思つています。相手方が万博を行うときに、それ以上のエネルギーで日本をすることをやる政策視点をもつてもらいたいと思つています。上海万博のテーマに「より良い生活」(Better Life)とありますが、中国全土でもし電気を使い始めたらどれだけエネルギーを消費するかわかりません。上海万博では、中国の家を環境を重視した未来型住宅にする、出展するビルの窓ガラス自体が電気を作るといった進取の気性に満ちた出展をするべきでしょう。

また、古来日本では万燈籠、お水取り、お盆の行事など、夜を楽しむという生活様式が

ありました。日本が仕事ばかりしている国ではなく、生活を楽しんでいる国だということアピールしてほしいと思つています。

私の曾祖父がバリ万博に掛軸を一〇〇〇点持ち込んだことで、印象派が興るきっかけとなりましたが、絵画、芸術、音楽といった文化、日本人の生き方や哲学といった、日本が古来からもつている美徳などのすばらしいところを見せてあげることが必要だと思つています。

佐々木会長 日本政府として上海万博への参加の意思表明をできるだけ早い時期にしていただきたいと思つています。その上で民間としてどういふふうに対応していくか考えていきたいと思つています。上海万博に政府が参加するというのであれば、ハノーバーでの「人類・自然・技術」、また愛知博における「自然の叡智」というテーマとの整合性を考えていくべきではないかと思つています。地球的規模の課題であり、特に中国の現在の課題である環境保護、省エネ・省資源というものにつながるような趣旨が望ましいと思つています。実際に参加要請があれば、政府と情報を共有させていただきなから、三菱商事単独というよりは三菱グループとして検討することになると思つています。



足立 直樹氏



今井 通子氏



大坪 文雄氏

変困難です。そのような意味で、中国に関する情報を定期的に我々に提供していただければ、もつと前向きに産業界として参加を表明することにつながるのではないかと思います。そういう意味でも、経済産業省の中には是非相談窓口を設けていただきたいと思つています。上海万博でも日本政府館が出来ることと思ついますが、政府館の中の大きなスペースの一つに産業界が出て行くことはできないかなど、幅広く議論をしながら、理念の継承や日本の良さをアピール出来れば、大変ありがたいと思つています。

今井氏 私は来訪者の立場でお話させていただきます。日本館を想定した場合、中国の人は日本人を大変エコノミストっぽいと思つているところがあるので、日本人は口ハズ好き、平和主義、旅行好きといった点を伝えていく必要があると思つています。例えば、アニメなどのコンテンツ類やロボット、エコ

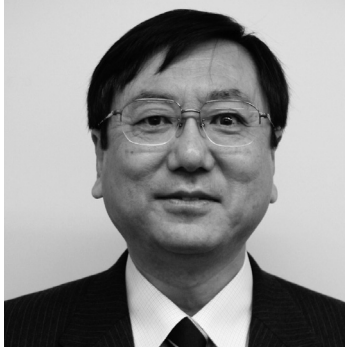
カー等は企業パビリオンに任せ、ロハス好きとしてソーラーシステム、光触媒の外壁、屋上緑化技術などを提示、平和主義では中国とも親しく行つている南極事業、また、中国との関係では大昔人つてきたメタセコイヤの並木やハス田等、日本の原風景に取り込まれていることの紹介等、旅行好きでは富士山の見える川原の浮世絵を背景に江戸時代らしい橋をおき、そこで記念撮影が出来る形にすれば、中国の方にも喜んでもらえるのではないかと思つています。日本館に隣接されたその業種の本企業の、日本料理店、日本製品店があればなお嬉しいかも。

大坪社長 当社では中国における製造拠点が大小取り混ぜて既に六〇ヶ所近くあり、現地従業員も七万人を超えておりますので、今回の万博については大変興味を持つています。万博そのものの目指す地球環境との共生や、デジタル技術を駆使した未来の生活は、

当社が目指す経営の方向と極めて共通点が高いので、なんとかさういったものを上手く上海でアピールしたいという思いはあります。先程から課題提起がありましたように、国としての参加が決定されていない中で、企業として出過ぎるということは難しい点があります。また、スケジュールや応募要領などが明確ではありませんので、公平、公明、そして公正かつ透明な情報提供をお願いしていただきたいと思つています。当社としては、家一軒丸ごと環境にやさしい家や、どれだけデジタルライフを体験出来るかといったコンセプトを紹介することができると思ついますが、まだなかなか具体的に動きにくいという状態でありまして、その点をご考慮いただければと思つています。

岡村会長 中国の方々に、どのように日本に対する理解を深めていただくかがポイントになると思つています。是非、日本全体として、意志統一のとれた展示が出来ればと思つています。愛・地球博の経験も踏まえ、個別に展示して個々に競い合うことは避けた方がよいと思つています。ブランド高揚という意味で、博覧会の役割は非常に大きいと思つていますので、日本ブランドをいかにして高揚するか、国単位での取り組みを進めていただければと思つています。大臣からお話のありました、コンテンツを中

●特別企画● 今後の国際博覧会に向けて



中村 利雄 氏

できる情報交換の場が必要だと思っています。御手洗会長 私は万博というものを積極的に考えたいと思います。万博は国がイニシアティブをとって、まずコンセプトや哲学を明確にしていきたいと思います。民間はそれに沿って出展することになりますから、ぜひ政府がイニシアティブをとり、早く参加を決めていただきたい。経済産業省にインフォメーションセンターになってもらい、刻々変わる情報をキャッチし、それを直ちに出展者に知らせる仕組みを作っていたらいいと思います。もう一つ、我々メーカーにとって万国博覧会は夢を実現する実験場でもあります。二〇一〇年の万博であれば、だいたい二〇一五年から二〇二〇年くらいに出てくる夢の製品を開発して出展する、これは楽しみでもありません。そのためには今から開発しなければならず、事前の準備に相当の時間が必要となります。したがって、出すとなれば明確な意思を



野村 明雄 氏

早く決めてそれに向けて社内の開発体制を整えていく必要があります。関澤副社長 まずは愛・地球博の理念を承継することに力を入れるべきではないでしょうか。日中間には、政治、経済のみならず社会、文化、スポーツ、芸術、ボランティアといったいろいろなパイプがあり、そういったところに焦点をあてて、日中関係がいろいろな面で多面的に繋がっていることを理解してもらうことが必要です。鉄鋼業界の経験から言えば、環境・エネルギー分野が鍵ではないかと思えます。中国の環境問題の日本への影響度と、日本が貢献できる領域の広さという意味で、非常に意義深いのではないかと思っています。中国にとってこれから環境と経済が両立していくことが国家発展の基本でなければ困るわけです。そう言った観点から、日本政府においては、基本的な方針を打ち立てていただき、民間はそれに基づいてどう進める



船山 龍二 氏

か検討するしかありませんが、その際にも、企業にとつての出展による特典、参加のためのルールや法律、特にリスク情報、こういったものを是非伝えていただきたいものです。依田会長 経団連のエンターテインメント・コンテンツ産業部会長の立場で発言させていただきます。特にポップカルチャーが大変なものになるでしょうし、上海万博はコンテンツという言葉が使われる初めての国際的な博覧会になると思います。二階大臣のご発言がございましたがコンテンツをどのように活用するかが最も重要であるとお考えについては、非常に意を強くしています。国際コンテンツカーニバルは、正に国家戦略としてのコンテンツ産業振興と存じます。映画、音楽、アニメ、ゲーム、漫画等の国際共同制作、特に中国と日本との共同制作が活発に行われることが期待でき、上海万博にてそれを発表できる場を作れば非常に大きな進歩となります。特に、中国、アジアにおいては小中学生、二十代の若い人たちにとっては最新の日本のポップカルチャーが大きな影響力を持っており、これをベースとしたジャパンブランド戦略を、国を挙げて進めて頂きたいと思えます。上海万博になるとロケット全盛になると思いますが、どのようにコンテンツを融合させるかが非常に大



佐々木 幹夫 氏

して、その経験から申し上げますと、いかに内容が良くても安全面での課題がありますと博覧会としての高い評価は得られなかったのではないかと思っています。上海万博でも、安全とか信頼感といった点がサステナビリティと同様求められてくるのではないかと思えます。今のところ、こうした面を支える体制、運営上のルールなどの情報は入ってくる状況にございませんで、ぜひ政府同士でご議論いただいた上で、日本国内に展開をしていただきますと、民間としても少し検討ができるのではないかと感じています。

野村会長 中国とは従来からガステクニクに關しますセミナーなどを開催しております。また、今年五月には、日中省エネ環境総合フォーラムに参加させていただきました。ガス事業は大変ドメスティックなため、これまで海外で出展したことはありませんが、例えば日本政府の出展テーマがエネルギーや



八丁地 隆 氏

環境、省エネといったものであれば、一定の展示等ができるのではないかと考えています。なお、昔から大阪は中国との関係が深く、特に上海市政府と大阪府、大阪市は、協定を結んで交流をしているので、大阪府・大阪市とも、上海万博に何らかの形で参加を検討されると伺っております。地方から参加、出展するにあたって中国からのインセンティブや日本政府から支援いただける策があるかどうか教えていただければと思います。

松山会長 中国は北京オリンピック、続いて上海万博をやるという事で、ちょうど日本の東京オリンピックに続く七〇年の大阪万博を思い出しました。六四〇〇万人という想像を超えた人が集まりましたが、アポロ11号が月の石をもってきて展示したということ、それが一番人を引きつけた原因です。愛・地球博も引きつけたのはやはりマンモスだったのでしょうか。上海博覧会が何を目玉にもつ



豊田 章一郎 氏

ていくかによって、ひょっとしたら一億人位いくのではないかと気がいたします。昨年中国へ行った日本人は三四〇万人で、これは二〇一〇年には五〇〇万人を超すと思われるから、日本からの入場者数は大きなシェアを占めると思われます。日本が正式に参加表明をすることは重要だということですが、早く正式表明をしてサポートをしてほしい。また、日本では大阪万博の年に、日本に来る外国人と海外へ行く日本人の数が逆転した年です。上海万博を機に中国の海外旅行率は高まるのではないかと期待しています。

俣木理事長 上海万博では企業の参加出展の方法について、二〇〇八年に北京で開催されるオリンピックと同様、スポンサー方式が採られています。ただ、同じスポンサー方式でも万博とオリンピックではメディアによる放送の有無など、多少意味合いが違うこともあり、現状、日本企業はまだ参加の決断をされていない状況かと思えます。しかし、今後主催者が、過去にいくつかの博覧会を経験された日本企業に対して参加してほしいという期待と要請がますます強くなるのではないかと思えます。そういった場合に、日本企業が上海万博への参加にあたって適正に判断



8月9日 博覧会推進室に上海国際博覧会情報センター発足

「国際博覧会に関する有識者懇談会」メンバー構成

足立 直樹	凸版印刷(株)代表取締役社長
今井 通子	登山家、医師
大坪 文雄	松下電器産業(株)代表取締役社長
岡村 正	(株)東芝取締役会長
勝俣 恒久	電気事業連合会会長
絹谷 幸二	画家
神坂 次郎	作家
小宮山 宏	東京大学総長
佐々木幹夫	三菱商事(株)取締役会長
庄山 悦彦	(株)日立製作所代表執行役会長
白石 真澄	東洋大学経済学部社会経済システム学科教授
〈座長〉豊田章一郎	(財)2005年日本国際博覧会協会会長
中村 利雄	(財)2005年日本国際博覧会協会事務総長
野村 明雄	大阪商工会議所会頭、(社)日本ガス協会会長
船山 龍二	(社)日本ツーリズム産業団体連合会会長
俣木 盾夫	(社)日本広告業協会理事長
御手洗富士夫	(社)日本経済団体連合会会長
三村 明夫	新日本製鐵(株)代表取締役社長
依田 巽	(株)ギャガ・コミュニケーションズ代表取締役会長
渡辺 修	独立行政法人日本貿易振興機構理事長

ばらくジェトロが代行してインフォメーションセンターのようなものを作ってやろうということですから、ぜひ看板を掲げてやってみようかと思っております。経済産業省の中には既に博覧会推進室がありますが、これは上海に限らず、どの博覧会においても推進しようという室です。早速、私の方も博覧会推進室に上海国際博覧会情報センターの看板を掛けます。今日は有益なご意見をたくさん頂戴しました。

観光関係では、日中韓の三国の観光大臣会議を早くやろうということを数年前から言ってきましたが、先日、これが実現しました。私は日中韓のトライアングルと万博、そして日本への観光と併せて考えて、国民的に万博を自国の万博のように取り入れて考え、ビジットジャパン(Visit Japan)をアピールしていくのも一つのチャンスであると思います。そういうことを関係各省に申し入れていきたいと思っております。これから上海万博を

成功させる日まで、皆さんの一層のお力添えをお願いしてお礼の挨拶に代えさせて頂きま

(神坂次郎氏、小宮山宏氏、白石真澄氏の三氏は海外出張等により欠席。また、(株)日立製作所については八丁地隆代表執行役副社長、新日本製鐵(株)については関澤秀哲代表取締役副社長が代理出席)

が、上海万博では著作権に対する理解、啓蒙、整備がされるよう強く働きかけるべきです。著作権を尊重してもらおうことが、模倣品、海賊版の撲滅につながると思っております。

渡辺理事長 ジェトロは、故・竹下元総理が「博覧会はジェトロだわね」とよくおっしゃっておられたように、数多くの海外の博覧会に携わってきており、経済産業省の指導のもと、上海万博に実施機関として参画したいと思っております。上海にはジェトロの事務

所がありますので、刻々と変わる上海万博の情報収集し提供する情報センターとしての役割を果たせたいと思っております。二〇一〇年は二階大臣が打ち出された東アジアEPA構想が相当実現している時期かと思いますが、その鍵を握るのは、中国の持続的発展であり、それが実現するかどうかは、その中枢部門に日本が入っていること、日本の技術、エネルギー、文化、コンテンツあらゆる日本の存在が中国の持続的発展のキーエレメントに入っているという姿を上海万博の場で世界に示すことができたいと思っております。

いものを出そうと思ったら時間がかかるものですから、なるべくその方針を早く出して頂きたいと思っております。今日のご発言からも万博は大きな文化事業であるということを再認識しました。ぜひ、よろしくお願い致します。

二階大臣 本日は、ご出席頂きありがとうございます。先ほど頂きましたご意見は極めて重要な視点であると思っております。上海万博に我が国がどういった関わりをもっていくかということを早速、関係者によくご理解を頂く上で、重要な意味合いをもっていると思っております。本日、国として参加表明をどうするか、もっと早く参加表明しないのか、そのようなご要請を頂いたことは政府としても責任の重大性を思うと同時に、速やかに、この結論を急ぐべきだと考えております。今日のご意見の中でとりあえずやれることとして、ジェトロ渡辺理事長より上海現地の方は、し



渡辺 修氏

は解決しませんが、上海万博では著作権に対する理解、啓蒙、整備がされるよう強く働きかけるべきです。著作権を尊重してもらおうことが、模倣品、海賊版の撲滅につながると思っております。

ご意見を寄せて頂き、非常にこの会議が盛り上がったと思います。皆さん方のお話を総合すると、やはり政府として正式にやるということを表明してもらえば、我々もやり易いのではないかと思います。御手洗さんからもご指摘があったように、やはり本場に内容のい



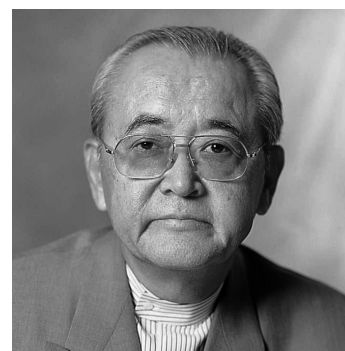
俣木 盾夫氏



御手洗 富士夫氏



関澤 秀哲氏



依田 巽氏